

令和8年度 ひうらエルモ 事業計画書

1 今年度の目標

・地域住民への情報発信や事業の実施を通じて、地域内における認知度の向上を図る。
・事務所開設初年度であることから、事業は日浦地区社会福祉協議会を中心とし、事務手続を習熟することで、円滑な事業運営体制の構築を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	高齢者の集い	(5)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月10日	
(2) 実施場所	どんぐり荘	
(3) 参加者数	50人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 日浦地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・令和7年度は「75歳以上の一人暮らしまたは80歳以上の住民」を対象としていたが、令和8年度は対象を「75歳以上の住民」に拡大することで、より多くの住民の交流機会の創出を図る。 ・各地区の回覧により周知を行うとともに、どんぐり荘までの移動には貸切バスを活用し、移動中から参加者同士の交流を促進する。 ・会食時には、各地区の枠を超えて交流できるよう席配置を工夫し、幅広い住民同士の交流を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 少子高齢化が進み、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えている。引きこもらず、地域の人と関係を保ちながら、いきいき生活できるようにきっかけの場を作る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 社協役員、民生委員、ボランティアメンバーが高齢者と会食をともにしながら交流を図ることで、今後の見守り活動が行いやすくなる。 ② 地域の住民がお互いの顔見知りになることで、共助で困りごとを解決する地域の実現につながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	まごころ弁当の配食	(5)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月27日 および 令和9年2月26日	
(2) 実施場所	日浦地区（毛木、後山、宮野、筒瀬）	
(3) 参加者数	90人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 日浦地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・75歳以上の一人暮らし及び80歳以上のみの世帯に弁当の配食をする。 ・一人暮らしの高齢者の孤立を防ぎ、共助で困りごとを解決する地域の実現につなげるため、配食を通じて見守り活動やコミュニケーションを図り、地域住民がお互いに顔見知りとなる関係を育む。 ・まちづくりの担い手の確保につなげるため、配食活動に従事するボランティアに対して報償費を支払う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 日浦地区では高齢者の一人暮らしや高齢者の世帯が増えている一方で、ボランティア活動に参加する人が少なく、十分な見守り活動等の支援ができていない。配食活動を通して、ボランティアや民生委員による見守り活動を行うとともに、ボランティア従事者の確保につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 社協役員、民生委員、ボランティアメンバーが配食することにより、一人暮らしの高齢者とコミュニケーションをとることができ、高齢者の孤立を防ぐことに役立つ。 ② 地域の住民がお互い顔見知りになることで、共助で困りごとを解決する地域の実現につながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	ボランティア研修会	(5)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月30日	
(2) 実施場所	どんぐり荘	
(3) 参加者数	20人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 日浦地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・毛木、後山、宮野、筒瀬の各地区におけるボランティアメンバー及びボランティアに関心のある住民を対象に、どんぐり荘でそば打ち体験を実施し、地域間の交流促進を図る。 ・既存のボランティアメンバーがそれぞれ、参加の見込めそうな方に声掛けをする。 ・そば打ちというイベントにより新規の方に興味を持ってもらい、ボランティア活動の参加促進及び、既存のメンバーのモチベーション維持にも繋げる。 ・研修会を通して4地区の課題の共有に繋げ、他地区の課題解決にも積極的に参加してもらえる体制を整える機会とする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 少子高齢化が進み、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えていることから、ますます見守り活動の必要性が高まっている。見守り活動の中心になっているのがボランティアメンバーであるため、それぞれの地区のボランティア活動を協力して行えるよう、新しいボランティアメンバーの交流及び既存メンバーのモチベーション向上を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① ボランティアメンバーが協力してそば打ちをすることで新しい担い手との交流を図り、ボランティアに参加する人数を増やすことができる。 ② 普段は毛木、後山、宮野、筒瀬の地域でそれぞれ活動している日浦地区のボランティアが、お互い顔見知りになることで、共助で困りごとを解決する地域の実現につながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	グラウンドゴルフ大会	(5)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>10</u> 月 <u>24</u> 日	
(2) 実施場所	どんぐり荘	
(3) 参加者数	<u>40</u> 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>日浦地区社会福祉協議会</u>	
4 取組内容	・4地区(毛木、後山、宮野、筒瀬)対抗のグラウンドゴルフ大会を行う。 ・各地域の回覧により新規参加者を募集する。 ・4地区間での交流を促進することで、一つの地区では継続が難しくなっている伝統行事を協力して実施する下地を形成する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 以前は日浦地区内の三つの小学校の合同運動会や、毛木、後山、宮野、筒瀬対抗のバレーボール大会があり、住民が集まる機会があった。現在はその行事がなくなり、四つの地区の交流がなくなった。住民参加によるグラウンドゴルフを実施し、四つの地区の交流の機会促進及び健康増進を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① 回覧によりこれまで参加されなかったことがない方へ積極的に広報することで、地域住民の交流機会を促進し、地域活性化につなげる。 ② 四つの地区の住民が集まり交流する中で、お互いの困りごとや工夫していることを共有できる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	敬老会	(5)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>9</u> 月 <u>21</u> 日	
(2) 実施場所	毛木集会所、後山集会所、宮野集会所、筒瀬集会所	
(3) 参加者数	<u>270</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>日浦地区社会福祉協議会</u>	
4 取組内容	・長寿を祝う会として、4 地区同じ日時に食事等を一緒に食べて交流を促進する。 ・参加が難しかった方には記念品の配布を通してコミュニケーションを図り、高齢者が安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進める。 ・参加者が楽しめる漫才や歌唱、日本舞踊などの催しを通して住民同士の交流を図り、活力を得てもらう。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 日浦地区は高齢率が55%と高く、高齢者の一人暮らしも多い。体力の低下から引きこもりがちになりやすいことから、このイベントを社会とのつながりを持ち続ける場とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 自治会や社協の役員、ボランティアメンバーが高齢者の不安や悩みを知る機会にすることができる。 ② 住民同士の交流が促進され、いざというときの共助に繋がる。 ③ これまでは各地区の財源を活用して実施していたが、自治会財源のみでの継続が困難となりつつあった。LMO が補助することで事業の継続を図るとともに、これまで参加できなかった住民も含めた交流の促進につながる。	

3 自主財源で実施する事業

特になし